

令和元年度海外販売促進活動報告書

令和2年3月2日

JA全農インターナショナル(株)
青果部

令和元年度海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : タイ(バンコク)

実施期間 : 令和2年2月13日～26日(14日間)



1. 『タイ JA全農 2月イチゴプロモーション』について

(1)期間 : 令和2年2月13日～26日(14日間)

(2)場所 : Central Group 4店舗
(内訳;① TOPS CHIDLOM ② TOPS BANGNA
③ TOPS CENTRAL WORLD ④ TOPS RAMA 3)

(3)実施内容 : いちごの最盛期を迎えるにあたり、バレンタインデーのタイミングに合わせ、バンコク市内の高級小売店グループである同店舗にて販促を実際した。

ア. 販売品目・数量 : いちご2品種 (下表の通り)

商品名	産地	数量
イチゴ「あまおう」	福岡県	643 pack
イチゴ「恋みのり」	熊本県	125 pack

イ. 物流 : 航空便2便(ETA0212 および ETA0219)

ウ. 販促内容 : 現地プロモーターによる試食販売を通じ、食味・見栄えなど、日本産青果物の品質高さをアピールした。

① TOPS CHIDLOM



② TOPS BANGNA



③ TOPS CENTRAL WORLD



④ TOPS RAMA 3



販促報告

- ・売価は、1月実施時よりも1割以上下げて販売した。
- ・あまおうについて、色・香り・酸味と甘みのバランス で高評価。
恋みのり色、形、甘さ、香りにおいて高評価であったが、あまおうを好む顧客が多かった。
(CHIDLUM)
- ・あまおうについて、甘みと酸味のバランス、瑞々しさを高評価。
(BANGNA、CENTRAL WORLD)
- ・あまおうについて、サイズが大きく、食味良く、香りも良い。(RAMA3)

2. 考察と今後について

バンコク市内の高級系スーパーであるCENTRALグループ4店舗において、1月の春節に引き続き、今度はバレンタイン需要を見込んで販促を行った。

販促を行ったイチゴ2品種は、12月上旬から販売を開始している。

前回はちょうど1か月前の1月に実施。その際は特にあまおうの「甘み不足」を指摘する顧客が多かったが、今回はそのようなネガティブな意見は少なく、評価を回復する結果となった。

1月に比べ気温の上昇から、食味が向上したことが想定される。

また、食味の向上と価格の下げが奏功し、価格に対するネガティブな意見は聞かれなかった。

いずれにしても、バンコク市内の顧客は舌が肥えている。必ずと言っていいほど、韓国産が隣で売られており、甘い・酸っぱい・高い等の評価は、「韓国産より」というのが暗示されているものと思われる。

以上